

## Everything DiSC®ワークプレイス:バーチャル・アクティビティ・プラン

Everything DiSC®ワークプレイスを用いて、インパクトのあるアクティビティを中心としたバーチャルワークショップを開催するためのガイドを提供します。カリキュラム概要と、詳細に分けて記載しており、Everything DiSC ワークプレイスのファシリテーションキットをお持ちであることを前提としています。約 2~3 時間のカリキュラムですが、これをひな形として、状況に合わせて、またご利用のオンラインプラットフォームに合わせて、自由にカスタマイズしてください。

Topic	アクティビティ	必要なもの	所要時間(分)
1.アイスブレイカー	OptionA:身近な質問を投げかけ、回答を促す	ブレイクアウトもしくはチャット	2
	OptionB:DiSCに関連する投票	投票機能	2
2.DiSCを理解する	OptionA:DiSCの縦軸と横軸について記入する	ホワイトボード	10
	OptionB:DiSC紹介映像を見せる	映像共有	4
	DiSCモデルを説明する(パワーポイント)	—	10
3.DiSCの原則	DiSCの原則を説明する	—	3
4.DiSCを個人化する	ドットを説明し、P4を読ませる(個人化)	—	8
	OptionA:誰か代表者に選んだ箇所を発表してもらう	—	5
	OptionB:小グループで共有する	ブレイクアウト	5
5.優先事項とシェードを知る	優先事項とシェードを説明し、P5の記述で、当てはまる箇所に下線を引いてもらう(個人化)	—	5
6.4つスタイルを深く理解する	OptionA:「職場の私」の作成。スタイルごとのグループに分かれて、自分たちのスタイルに関するポスターを作成する。作成後、全体に共有する	ブレイクアウト+ホワイトボード	20
	OptionB:P6のモチベーション要因とストレス要因を個人化し、チャットで共有する	チャット	10
	OptionC:職場の私 オンライン版。全員で各スタイルのポスターを作成する。作成後、そのスタイルの参加者にコメントを求める	ホワイトボード、チャット	40
7.他者のスタイルを理解する	OptionA:モジュール2「他のスタイルの人と働く」の映像を見せ、確認する	映像共有、チャット	30
	OptionB:自身とギャップのあるスタイルを選んでもらい、シェアする	チャット	5~7
8.他者への理解を深める	各人に、知っている誰か一人を選んでもらい、スタイルを見分けるさらに、理解ができない点と理解できる点を確認する	—	10
	OptionA:ブレイクアウトで選んだ記述について話し合い、全体で共有する	ブレイクアウト、ホワイトボード	20
	OptionB:各スタイルの代表者を指名し、選んだ記述を共有させる	—	10
9.他者と良い関係を築く	選んだスタイルのページ(P12~15)で、活用できそうな対応策を選んでもらう	—	5
	OptionA:ブレイクアウトで対応策を話しあう、その後全体で共有する	ブレイクアウト	15~20
	OptionB:全体で、各スタイルについて対応策を誰かに発表させる発表後、そのスタイルの誰かから、フィードバックをしてもらう	—	6
10.アクションプランニング	対応策を読み、アクションプランを作成する	—	10
	OptionA:作成したアクションプランを小グループで話し合う	ブレイクアウト	6
	OptionB:代表で3名を指定し、全体にアクションプランを共有してもらう	—	6

© by John Wiley & Sons, Inc. All rights reserved.

## Topic 1 : アイスブレイカー

参加者が孤立しがちなオンラインワークショップにおいて、参加意識や一体感を生み出すために、アイスブレイカーは特に重要です。参加者にとっては、使用するプラットフォームに慣れる機会にもなります。

### **Option-A: (2分、ホワイトボードもしくはチャット)**

参加者に身近な質問を投げかけ、ホワイトボードもしくはチャット機能を使って回答を促します。この質問は、セッション開始前の待機時間に利用することも可能です。

質問例:「どんな性格になりたいですか? / なりたかったですか?」

「あなたが人からよく受ける誤解は?」

「尊敬する人はどんな人ですか?」等

### **Option-B: (2分、投票機能もしくはチャット、それらがなければ口頭のみでも可)**

DISC に関連する質問を投げかけ、投票もしくはチャットで入力してもらいます。人にはそれぞれ違いがあることを確認したり、その違いが私たちに影響を与えていることを認識したりできます。

質問例: ・どちらのほうが理想の職場環境だと思いますか。

(人と一緒に働く機会が多い / 自立して自分一人の時間が多い)

・どちらの職場で働きたいですか。

(次から次へと決定し実行する / じっくり選択肢を吟味する)

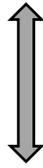
## Topic 2 : DiSC を理解する

DiSC モデルを紹介します。**ワークプレイス・プロフィール P2 下図**と、**ファシリテーションキットのモジュール1 / スライド8**を使用します(オンライン環境と、選んだ Option によって言い回しを調整してください)。Option は A と B 両方を選択することも可能です。もし Option-B のビデオを使用しない場合は、モデルや 4 つのスタイルの説明に余計に時間をとるようにします(10分)。

### **Option-A: (10分、ホワイトボード)**

参加者に、DiSC の 2 つの軸について質問します。自分自身で考える時間を持つと、DiSC モデルをより深く理解することができます。このアクティビティでは、ファシリテーターはまず縦軸に線を引いて、上に「速い / 主張する」と書き、下に「注意 / 思慮深い」と書きます。次に、横軸でも同じようなワークをします。その後、DiSC モデルの 2 つの軸について説明をします。

ペースが速い・主張する



冷静・思慮深い

疑問を持つ  
課題志向



受け入れる  
人志向

**Option-B: (4分、ビデオを共有できるプラットフォーム)**

DiSC の紹介ビデオを見せます。

### Topic 3 : DiSC の原則

DiSC の原則と、強度について説明します。ファシリテーションキットのモジュール 1 / スライド 9 ~ 12、**ワークプレイス・プロフィール 2 ~ 3 ページ**を使用します (3分)。

### Topic 4 : DiSC を個人化する

**ワークプレイス・プロフィール 4 ページ**のスタイルに関する記述を読むよう伝えます。プリントアウトしていない人が居る可能性が高いので、プロフィールのうち当てはまる記述を2 ~ 3つ、メモに書き出すよう指示します (8分)。

**Option-A: (5分)**

何名かに、書き出した記述を全体に共有させます。少人数なら、全員に共有してもらってもよいでしょう。

**Option-B (5分、ブレイクアウトルーム):**

少人数で話ができるようにブレイクアウトルームを設け、選んだ記述を共有してもらいます。

### Topic 5 : 優先事項とシェードを知る

優先事項とシェードについて、**モジュール 1 / スライド 15 ~ 16** を使って説明します。そして、**ワークプレイス・プロフィール 5 ページ**を読んで、当てはまる記述をメモに書き出すよう指示します。何名かに書き出したものをシェアしてもらいます (5分)。

## Topic 6 : 4つのスタイルをより深く理解する

### Option-A: (20分、ホワイトボード付きブレイクアウトルーム)

これは、ポスターワーク「職場での私」のオンライン簡易バージョンです。参加者を、4つのスタイル別のブレイクアウトルームに分けます。ワークプレイス・プロフィール 6 ページの「モチベーション要因」と「ストレス要因」を読んで、当てはまることについて共有するように指示します。一部屋の人数は5名までです。共有したものを、ホワイトボードにまとめます。10分経ったら、各グループから全体に対しシェアをしてもらいます。

### Option-B: (10分)

ワークプレイス・プロフィール 6 ページの「モチベーション要因」と「ストレス要因」を読み、当てはまるものを選ぶよう指示します。その後、Dスタイルの方々に、選んだものを全体にシェアしてもらうか、あるいはチャットに記入させます。ファシリテーターは補足でコメントをしてシェアをサポートします。これを他の3つのスタイルについても同様に進めます。

### Option-C: (40分、ホワイトボード、チャット)

これは、ポスターワーク「職場での私」のオンラインバージョンです。モジュール1 / スライド 19 ~ 21、ワークプレイス・プロフィール 7 ページを参照しながら、Dスタイルの「職場に貢献できること」「最も恐れていること」「他のスタイルからこのように誤解されがち」「どのように関わってもらいたいか」を、全員でホワイトボードに記入します。記入が終わったら、Dスタイルが強い人を示し、コメントをもらいます。最後にまとめのコメントを入れます。他のスタイルについても同様に進めます。

## Topic 7 : 他者のスタイルを理解する

### Option-A: (30分、ビデオを共有できるプラットフォーム)

ファシリテーションキット / モジュール2の映像を見せて、ディスカッションを促す。

### Option-B: (5~7分)

参加者に、ワークプレイス・プロフィール 7 ページを参照して自身とは違うと思うスタイルを2つ選んでもらい、特に違うと思う特徴を選ぶよう指示します。次に、その中で最も違うと思うスタイルの特徴を選ばせます（「課題」の箇所以外を参照する）。各スタイルについて1名ずつ、どの特徴が違うと思ったか、問いかけます。

### **Topic 8: 他者への理解を深める**

参加者に、もっと関係性を良くしたい相手を選んでもらい、その人物の DiSC スタイルを予測するよう指示します。そして、**ワークプレイス・プロフィール 8~11 ページ**で該当するスタイルについて読み、そのスタイルに対応する際にどうしても難しいと思う記述と、理解できる、つまりありがたいと思う記述を選ばせます(10分)。その後は、以下2つの Option があります。

#### **Option-A: (20分、ホワイトボード付きブレイクアウトルーム)**

選んだスタイルごとのブレイクアウトルームに参加者を分け、ホワイトボードを使って意見をまとめてもらいます。その後、スタイルごとにまとめたものを全体に共有します。その際、該当するスタイルの人に、誤解されがちなことについてコメントをもらいます。

#### **Option-B: (10分)**

まず、D スタイルを選んだ人の中から指名し、理解できることで選んだ記述を共有してもらいます。その後、難しい点を共有します。各スタイルでこれを繰り返します。

### **Topic 9: 他者と良い関係を築く**

より良い関係を築きたいスタイルを選び、**ワークプレイス・プロフィール 12~15 ページ**の該当するページを選び、少なくとも1つ以上の対応策を選び記録するよう指示します(5分)。その後は、以下2つの Option があります。

#### **Option-A (15~20分 ブレイクアウトルーム):**

選んだスタイルごとに、参加者をブレイクアウトルームに分けます。グループごとに、選んだ対応策となぜそれが効果的だと思うかをシェアさせます。全体グループに戻って、グループごとにポイントをシェアし、実際の該当するスタイルの人物にコメントを求めます。

#### **Option-B (6分)**

スタイルごとに、選んだ対応策をシェアさせ、実際の該当するスタイルの人物を指名して、コメントを求めます。

### **Topic 10: アクションプランニング**

モジュール 3/スライド 16~19、**ワークプレイス・プロフィール 16 ページ**の「あなたの職場での効果性を高めるために」の記述を読み、アクションプランを作成するよう指示します(10分)。

**Option-A (6分、ブレイクアウトルーム)**

参加者をランダムに 2~3 名ずつブレイクアウトルームに分け、プランをシェアしてもらいます。  
もし部屋の人数が多い場合は、さらに時間が必要になるでしょう。

**Option-B (6分)**

代表 3 名の参加者に、全体に対してアクションプランを共有してもらいます。